

計数調整中

1. 予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

(1) 水道事業会計	平成25年度当初予算額	709億97百万円
	平成24年度当初予算額	767億60百万円
	平成24年度最終予算額	730億71百万円
	前年度比 25年度当初/24年度当初	92.5%

前年当初比 △57億63百万円

- (主な増減要因) 収益的支出
- ・減価償却費 △47億32百万円 (琵琶湖開発事業に係る減価償却費の減)
 - ・支払利息等 △5億37百万円 (企業債利息、年賦未払金利息の減)
 - ・動力費 8億99百万円 (電気料金値上予定による増)
- 資本的支出
- ・企業債償還金 △33億45百万円 (補償金免除繰上償還の減等)
 - ・割賦負担金 △7億4百万円 (琵琶湖開発事業に係る割賦負担金の減)
 - ・建設改良費 35億19百万円 (中期計画に基づく事業費の増)

上段 平成25当初
中段 平成24当初
下段 平成24最終

事業名		事業費	主な内容
収益的 収支	水道事業収益	412億50百万円	営業収益(浄水給水収益等) 40,873百万円
		438億46百万円	・単価改訂 78円/m ³ ⇒75円/m ³ (△3円/m ³ 、影響額△1,629百万円)
		433億52百万円	・有収水量 517百万m ³ (△6百万m ³ 、影響額△491百万円)
資本的 収支	水道事業資本的収入	92億91百万円	営業外収益(受託収益等) 371百万円
		92億1百万円	企業債 7,093百万円
		90億37百万円	国庫補助金 1,526百万円
資本的 収支	水道事業資本的支出	329億9百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 32,859百万円
		333億38百万円	営業外費用(企業債利息等) 4,785百万円
		303億30百万円	建設改良費(改良費等) 21,260百万円
			企業債償還金 11,506百万円

※ 単年度損益	23億58百万円 98百万円 1億24百万円
---------	------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

(2) 工業用水道事業会計	平成25年度当初予算額	125億30百万円
	平成24年度当初予算額	176億18百万円
	平成24年度最終予算額	165億34百万円
	前年度比 25年度当初/24年度当初	71.1%

前年当初比 △50億88百万円

- (主な増減要因) 収益の支出 ・減価償却費 △16億円 (琵琶湖開発事業に係る減価償却費の減)
 ・企業債利息 △2億73百万円 (企業債利息の減)
 ・動力費 1億38百万円 (電気料金値上予定による増)
- 資本的支出 ・増補改良費 △2億4百万円 (改良事業費の減)
 ・企業債償還金 △13億82百万円
 (東南部工水事業に係る残債をH24に一括償還したことによる減)
 ・割賦負担金 △11億89百万円 (琵琶湖開発事業割賦負担金繰上償還の減等)

上段 平成25当初
 中段 平成24当初
 下段 平成24最終

事業名		事業費	主な内容
収益的収支	工業用水道事業収益	93億29百万円	営業収益 (工業用水給水料金等) 8,499百万円
		91億14百万円	・有収水量179,543千m ³ /年 (基本使用水量の減量30千m ³ /日による279百万円の減)
		90億96百万円	営業外収益 (賃貸料等) 26百万円 特別利益 (減量廃止負担金等) 804百万円
工業用水道事業費用	69億18百万円	営業費用 (減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等)	
	86億33百万円	6,299百万円	
	83億73百万円	営業外費用 (企業債利息等) 549百万円	
資本的収支	工業用水道事業資本的収入	11億37百万円	投資有価証券償還金 995百万円
		42億33百万円 41億59百万円	工事負担金 121百万円
工業用水道事業資本的支出	56億12百万円	建設改良費 (増補改良費等) 3,668百万円	
	89億85百万円	企業債償還金 943百万円	
	81億61百万円	投資有価証券 1,000百万円	

※ 単年度損益	22億43百万円 2億64百万円 5億90百万円
---------	--------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

2. 平成25年度主要事業の概要

〔 水 道 事 業 会 計 〕

上段 平成25当初
中段 平成24当初
下段 平成24最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給		
1. 改良更新事業の推進	162億11百万円 119億89百万円 96億60百万円	<p>施設の耐震化や老朽施設の更新、供給系統の二重化など府内受水市町村への安定供給を維持するとともに、災害に強い水道施設の整備を進めるため、浄水・送水施設等の改良更新事業を着実に推進する。</p> <p>(1) 震災対策 89億89百万円</p> <p>震災時においても最低限の社会経済活動を維持できる信頼性の高い水道システムを整備する。</p> <p>① 災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス送水管の整備（藤井寺～泉北） ・系統連絡送水管の整備（上小阪～枚岡、庭窪～諸口、庭窪～万博） ・松原ポンプ場築造工事 <p>② 既設構造物の耐震化</p> <p>ア) 浄水池の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里浄水池築造工事 <p>イ) 水管橋等の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管橋耐震補強工事 ・万博公園浄水施設無線鉄塔基礎耐震補強工事 <p>(2) 安定化対策 36億52百万円</p> <p>安定的な水処理業務等を行えるよう、施設整備を実施する。</p> <p>① 市町村水道との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送水管布設工事（河南連絡管）【新】 ・岩室ポンプ場基本設計委託（河南連絡管・泉北ルート）【新】 ・河南送水管整備用地測量委託【新】 ・分岐改良工事 ・あんしん給水栓改良工事 <p>② 水道施設のセキュリティー対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯島取水場防犯設備整備維持事業【新】 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三島浄水場排水処理監視制御設備改良工事 ・三島浄水場酸注入設備設置工事 ・万博公園浄水施設薬品（苛性ソーダ）注入設備改良工事 <p>(3) 老朽化対策 22億10百万円</p> <p>安定かつ効率的な施設運用が行えるよう、老朽化施設の改良更新を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯島取水場活性炭注入棟築造工事【新】 ・磯島取水場旧導水ポンプ改良工事 ・磯島取水場取水ポンプ棟無停電電源設備整備維持事業 ・村野浄水場非常用発電施設整備維持事業 ・村野浄水場階層系ろ過池電気設備改良工事

注) 【新】は平成25年度新規事業

上段 平成25当初
 中段 平成24当初
 下段 平成24最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給（続き）		
2. 既存施設の有効活用	8百万円 4百万円 4百万円	(1) アセットマネジメントの取組みの推進 8百万円 効率的かつ計画的な施設更新を行い、ライフサイクルコストの低減や更新費用の削減、平準化に資するため、アセットマネジメント（資産管理）システムの構築を行う。
3. 災害対策の取組みの強化に向けた検討	10百万円 — —	(1) 南海トラフ巨大地震外影響調査検討の実施【新】 10百万円 内閣府中央防災会議による同地震の被害想定を踏まえて、企業団施設への影響調査を実施し、その対応策を検討する。
II. 安全・安心で良質な水		
1. 水処理課題への対応	3億11百万円 14百万円 14百万円	(1) 水処理課題への対応 3億11百万円 臭素酸やマンガン等に関する新たな水処理上の課題への対処方法を検討するため、水処理実験装置の設置及び維持管理を行う。 ・村野浄水場水処理実験装置設置維持事業【新】
2. 水質管理の共同化の推進	2億14百万円 70百万円 70百万円	(1) 水質共同検査 56百万円 水質管理センターにおいて、企業団構成市町村水道における水質検査を共同処理する。 (2) （仮称）河南水質管理ステーションの整備及び運営【新】 1億58百万円 河南地域（富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村）における水質管理業務を共同処理する。
3. おいしい水のPR	7百万円 6百万円 6百万円	(1) 市町村との共同PR 5百万円 市町村でのイベント等において、高度浄水処理水と市販飲料水の飲み比べ（利き水）を行うことにより、企業団や受水市町村の取組みをPRする。 ・市町村との共同PR（利き水会の開催） (2) 出かける浄水場の実施 2百万円 企業団職員が府内小学校に出向き「安全でおいしい水づくり」について学習の機会を提供する。
III. 持続可能な事業運営		
1. 広域的な事業運営	2億71百万円 45百万円 45百万円 (※ 再掲分含む)	(1) 広域化の調査検討 30百万円 府域における水道事業の広域化等に関する調査検討を行う。 (2) 事務の共同処理 ・（仮称）河南水質管理ステーションの整備及び運営【新】（再掲） 1億58百万円

注) 【新】は平成25年度新規事業

上段 平成25当初
 中段 平成24当初
 下段 平成24最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
III. 持続可能な事業運営（続き）		
1. 広域的な事業運営 （続き）		<ul style="list-style-type: none"> ・災害用備蓄水の共同製作 7百万円 （6団体 約6万2千本） (3) 市町村との連携拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・河南町大宝低区配水池耐震補強詳細設計委託【新】 10百万円 河南町配水池の耐震補強工事を企業団が受託して実施する。 (4) （仮称）市町村交付金調整金【新】 66百万円 <ul style="list-style-type: none"> ・一部構成団体に発生する市町村交付金の減収分に対する調整金を交付する。 （対象団体：枚方市、守口市、摂津市、吹田市）
2. スリムな組織	32百万円 — —	<ul style="list-style-type: none"> (1) 更なる業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・庭窪浄水場運転管理業務委託【新】 32百万円 三島浄水場の監視操作業務、庭窪・大庭・三島各浄水場等の施設点検業務等について外部委託を行う。
IV. 環境保全		
1. 省エネルギー機器の導入促進	60百万円 43百万円 43百万円	<ul style="list-style-type: none"> (1) 省エネルギー機器の導入促進 60百万円 水道施設等の新設・更新時に、よりエネルギー効率の高い機器を選択し、使用電力量を削減する。 ・村野浄水場 照明設備改良工事
2. 廃棄物の有効活用の推進及び適正処理	3億53百万円 3億26百万円 3億26百万円	<ul style="list-style-type: none"> (1) 水道残渣の有効活用の推進 95百万円 <ul style="list-style-type: none"> ・村野浄水場水道残渣有効利用関連施設整備運営事業 (2) PCB廃棄物の適正処理の推進 2億58百万円
3. 環境に優しい水道事業体を目指す取組み	2百万円 — — (※ 再掲分)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 環境学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・出かける浄水場の実施（再掲） 2百万円
V. 国際貢献		
1. タイMWAパートナーシップ協定に基づく技術交流	4百万円 — —	<ul style="list-style-type: none"> (1) タイ国首都圏水道公社（MWA）との技術交流の促進【新】 4百万円

注) 【新】は平成25年度新規事業

〔 工 業 用 水 道 事 業 会 計 〕

上段 平成25当初
 中段 平成24当初
 下段 平成24最終

事 業 名	事 業 費	主 な 事 業 内 容 の 説 明
I. 安定供給		
1. 改良更新事業の推進	35億43百万円 37億47百万円 30億22百万円	<p>工業用水の安定供給を通じて、産業基盤施設としての役割を果たして行くため、特に優先して整備すべき施設から効率的に整備する。</p> <p>(1) 震災対策 10億99百万円</p> <p>① 既設構造物の耐震化 ・ 八尾ポンプ場配水池耐震補強工事 ・ 水管橋耐震補強工事、土質調査</p> <p>② 災害に対する安全性の強化 ・ 配水管布設工事等〔バイパス・堺市〕 3工区 ・ 配水管布設工事等〔バイパス・堺市〕 4工区</p> <p>(2) 安定化対策 6億8百万円</p> <p>・ 配水管布設工事〔守口北守口東連絡・寝屋川〕2-4工区他【新】 ・ 大庭浄水場除マンガン施設築造工事【新】 ・ 八尾ポンプ場管路弁設置工事 ・ 泉大津ポンプ場配水ポンプ設備改良工事 ・ 三島浄水場水道残渣有効利用施設改良工事【新】 ・ 配水管布設工事等〔穂積ループ・茨木市〕1工区、5工区 ・ 配水管布設工事等〔豊中・正雀連絡管・吹田市〕その1</p> <p>(3) 老朽化対策 16億 3百万円</p> <p>・ 大庭浄水場 沈澱池更新工事ほか ・ 配水管布設替工事等〔堺市、東大阪市、八尾市、泉佐野市〕 ・ 制水弁室築造工事〔堺市〕</p>
2. 既存施設の有効活用	8百万円 4百万円 4百万円	<p>(1) アセットマネジメントの取組みの推進 8百万円</p> <p>効率的かつ計画的な施設更新を行い、ライフサイクルコストの低減や更新費用の削減、平準化に資するため、アセットマネジメント（資産管理）システムの構築を行う。</p>
3. 災害対策の取組みの強化に向けた検討	3百万円 — —	<p>(1) 南海トラフ巨大地震外影響調査の実施【新】 3百万円</p> <p>内閣府中央防災会議による同地震の被害想定を踏まえて、企業団施設への影響調査を実施する。</p>
II. 持続可能な事業運営		
1. 広域的な事業運営	15百万円 — —	<p>(1) (仮称)市町村交付金調整金【新】 15百万円</p> <p>・ 一部構成団体に発生する市町村交付金の減収分に対する調整金を交付する。 (対象団体：守口市、摂津市)</p>
2. スリムな行政組織	13百万円 — —	<p>(1) 更なる業務の効率化 13百万円</p> <p>・ 庭窪浄水場運転管理業務委託【新】 三島浄水場の監視操作業務、庭窪・大庭・三島各浄水場等の施設点検業務等について外部委託を行う。</p>

注) 【新】は平成25年度新規事業

上段 平成25当初
 中段 平成24当初
 下段 平成24最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
Ⅲ. 環境保全		
1. 廃棄物の有効活用の推進及び適正処理	1億73百万円 3百万円 3百万円	(1) 水道残渣の有効活用の推進 51百万円 ・ 三島浄水場水道残渣有効利用施設改良工事（再掲） (2) 吹付アスベストの適正処理【新】 1億22百万円 ・ 大庭浄水場旧脱水処理棟アスベスト除去工事 （大庭浄水場除マンガン施設築造工事に伴う除去工事）

注) 【新】は平成25年度新規事業

河南 10 市町村・企業団による共同水質管理を開始！

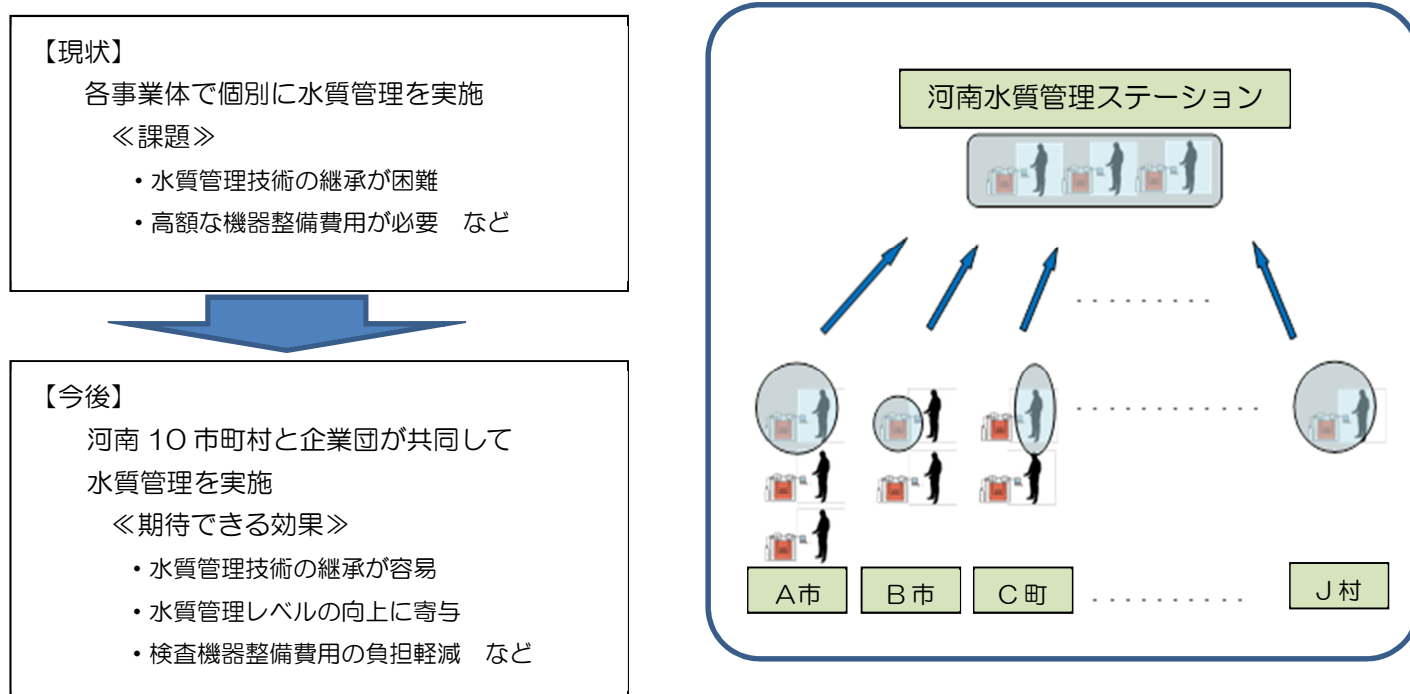
～（仮称）河南水質管理ステーションの設置～

1 事業概要

これまで府内 42 市町村では個々に水質管理を実施されてきましたが、このたび企業団では河南地域の 10 市町村と連携し、地域における全ての水質管理を共同で実施する広域的な水質管理拠点（企業団水質管理センターのサテライト）を初めて設置することとしました。

本拠点でマンパワーや分析機器の共有化を図ることにより、企業団と市町村との共同化、広域連携の取組みに寄与するとともに、地域の市町村水道事業の水質検査、水質管理の充実を図ります。

- (1) 対象団体 富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村（10 市町村）
- (2) 設置場所 河内長野市日野浄水場内及び柏原市玉手浄水場内
- (3) 設置時期 平成 25 年 4 月 1 日（予定）
- (4) 実施業務 水質検査及び水質管理全般
〔 採水、検体搬入などは各市町村が実施。水質検査計画などは各市町村が策定するが、企業団が素案を作成 〕
- (5) 運営体制 市町村からの派遣職員及び企業団職員で構成し、企業団が代表して運営



2 事業費

平成 25 年度当初予算（案） 1 億 5 8 百万円

- ・ 人件費（企業団職員分を含む）、機器整備費用、保守・薬品費、庁舎使用料、機器移管・初期工事など
- ・ 10 市町村で按分して負担



市町村の個別業務(設計・工事)の受託を開始！

～ 河南町 大宝低区及び高区配水池の耐震化実施設計及び工事 ～

1 受託の背景等

府域の水道事業は、水需要の減少に伴う料金収入の減少をはじめ、老朽化した水道施設の更新や耐震化等に伴う支出の増加、団塊世代の職員の退職による技術継承問題など、厳しい経営環境の中にあります。

企業団ではこのような課題に対応し、府域水道事業の経営の効率化や技術力を確保していくため、水道事業の受託・技術的支援を行うこととしており、市町村水道事業の個別業務（設計・工事）の受託を平成25年度から開始します。

2 事業概要

平成25年度から平成28年度までの間において、河南町大宝低区及び高区の配水池の耐震化事業を企業団が受託して実施。

(対象配水池の全景)



<大宝低区配水池 2池>



<大宝高区配水池 2池>

3 事業費

平成25年度当初予算(案) 9,407千円(総事業費〔概算〕約3～4億円)
(河南町からの委託料収入により実施)

4 事業スケジュール

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
低区 耐震化実施設計	→			
高区 耐震化実施設計		→		
低区 耐震化工事			→	
高区 耐震化工事				→

※ 現時点での予定を表記